

◆28 番（森田卓司議員）

皆さんこんにちは。自由民主党岡山市議団森田卓司でございます。

午前中の質問になるとは思っていなかったのですが、余り準備ができていませんでしたが。

きょうは松島議員が on i ビジョンの話をされなくて、私は on i ビジョンを見られている皆様と言おうと思ったんですけど、きょうは W B C——ワールド・ベースボール・クラシックがあつて、多分そっちのほうを皆さん見られるだろうなと思っています。

このことを松島議員が言われるかなと思っていたんですけど、言われなかったから言ったんですけど、平成 27 年 9 月議会でも同じようなことが、サッカーワールドカップのアジア 2 次予選のアフガニスタン戦がちょうどあつた日でございます、その日に質問に立つという、何か余りテレビには恵まれていない議員かなと思っているところでございます。

それでは、通告に従いまして質問に入らせていただきます。

質問に入るんですけど、今、岡山市が移住、定住に非常に力を入れているわけがございますが、他の地域に出られて結婚されて、子どもさんが生まれた方が U ターンで建部に帰ってこようというふうな方が出てこられました。その方だけじゃなくて、岡山市内に帰ってこられる方はたくさんいらっしゃると思うんです。もちろん移住してここに住んでみようという方に対する政策もしっかりやっていかなくてはならないと思っていますが、本当に地元をよく知っていて地元との協調性もある、そういう方が帰ってきてくださるのは非常に我々にとっても素晴らしいことだと思うので、ぜひともそういう方に対して何万円とか上限をつけてでも引っ越し代をつけてあげればいいのではないかなと、そういうことを考えながらだんだん人口が減っている周辺地域の質問をさせていただきます。

1, 周辺地域と中心地域について。

中心地域等での待機児童の解消等、子育て環境の整備についての質問が相次いでいるところです。一方、御津、灘崎、そして建部、瀬戸が合併して現岡山市になって、公立保育園としては番町保育園に次いで福渡第二保育園が 2 番目に休園になる状況を迎えています。

福渡第二保育園は、地区住民の要望により昭和 49 年に開園され、開園当時は園児も多数であったが、近年は少子化の影響を受け、園児数も減少している状況でありました。しかしながら、地域全体がゆったりと落ちついていて温かさがあつて、園に対しても協力的で、季節や行事に応じた体験等に積極的に参加していただくなど、地域の拠点となる施設でありました。また、平成 21 年 4 月からの 1 年間、建部保育園園舎の建てかえのため、園児を受け入れる等岡山市との合併事業でも多大な存在感を示したところでもあります。この園がなければ本年 4 月 13 日開園予定の（仮称）建部認定こども園の設置もできなかったと感じています。

そこでお尋ねいたします。

(1) 番町保育園の現状をお示してください。

(2) 休園イコール廃園と考えるのか、来年度は福渡第二保育園の園児の再募集を開始するのか、御所見をお示してください。

(3) 今後の福渡第二保育園の跡地活用の方針をお示してください。

次に、昨年7月に町内会長等への実態アンケート調査を行い、80%の回収率であったとのことでした。早期に集計するべきではないかとの昨年9月議会の私の質問に対して、できるだけ早くまとめるとの答弁でした。

そこでお尋ねいたします。

(4) 調査結果の公表の方法についてお聞かせください。

(5) アンケート調査から町内会が抱える現状の認識と課題、今後の取り組みについての御所見をお示してください。

次に、今議会公明党代表質問の中原議員の道路整備についての質問に対する答弁で、新設幹線道路改良事業等では多くの家屋移転等の費用がかかる等々と答弁されていたと認識しています。周辺地域では、県道平岡・小鎌線、県道掛畑・虎倉線、主要地方道建部・大井線ほか、今後用地買収に取りかかる路線があります。来年度より機構改革が予定されていますが、これまで以上に用地買収等事業がスムーズに進むことを期待しています。また、周辺地域では家屋補償等がない路線もあり、さらに耕作放棄地等になっているところも多く、中心地域より用地費用も安く、比較的スムーズに事業が行われるものと確信しています。

そこでお尋ねいたします。

(6) 迅速な用地買収と道路整備を期待いたしますが、いかがでしょうか。

2, 平成29年度予算(案)より。

(1) 中心市街地に設置してきた岡山歴史のまちしるべの設置を周辺地域にも引き続き進めるとともに、新たに地域からの提案を募集する取り組みを行われています。岡山歴史のまちしるべ設置事業を進めていくことに私は賛同いたします。

そこで提案いたします。

周辺地域、特に合併地域、瀬戸と灘崎の場合はきれいな看板になっていると思うんですけど、合併地域では合併以前に設置された観光看板や案内看板が老朽化して危険であったり、その役目を果たしていないものがあります。更新の必要があると思うが、いかがでしょうか。

(2) 先ほどの福吉議員の質問は聞かなかったことにして、コミュニティ活動推進備品修繕助成事業についてお伺いいたします。

平成29年度当初予算案の概要によると、町内会が行う地域住民の交流促進のための行事等に必要なきしや太鼓等の備品の修繕費用を補助すると示されています。

そこでお尋ねいたします。

この事業の具体的な内容をできるだけ詳しくお示してください。

(3) ごみ処理広域化対策事業について。

平成 25 年度に岡山ブロック（岡山市，玉野市，久米南町）でごみ処理の広域化に向けた取り組みを行っていくことで合意され，平成 26 年度にはごみ処理広域化基本計画が策定され，来年度岡山ブロック全域を対象として広域処理施設の建設が可能な用地選定等の予算案が示されています。

そこでお尋ねいたします。

ア，用地選定についての方法をお示してください。

イ，地域から用地を提供したいとの要望があった場合はどのような対応をするのか，御所見をお示してください。

(4) 学力向上推進プロジェクト事業より。

市長提案理由説明で小学校 4 年生から中学校 3 年生までの期間を通じて生徒一人一人が自分の弱点を把握できるようにする，全中学校に導入する自主学習ソフトなどを利用して自主的に学習を進めることができるようにすると表明されています。

そこでお尋ねいたします。

ア，平成 28 年度中に岡山市教育委員会で独自に作成した調査問題による第 1 回目のテストの実施時期はいつごろでしょうか。

イ，自主学習ソフトについてどのようなものか，御説明ください。

ウ，弱点を把握し，克服することは重要なことではあると思いますが，長所を伸ばしていくことも考えるべきだと思いますが，いかがでしょうか。

3，防犯カメラ設置事業について。

この項に関しましては，担当の職員の方から町内会長にこれだけ説明したという本当に努力されたことをお聞きしました。職員の方の御尽力に敬意を表しまして，質問は省かせていただきます。

4，障害者センターについて。

未利用地の調査結果資料によると，福祉文化会館，市民文化ホール用地は売却に向けてアイデアを募集したが，意見がなく，いまだ方針が決定していないと認識しています。しかしながら，将来的には処分をしなくてはならない建物であり，用地であります。

そこでお尋ねいたします。

福祉文化会館には障害者センターが併設されています。岡山市身体障害者福祉協会等の団体から移転先を検討するように要望が出されていると思いますが，現状をお示してください。

以上で 1 回目の質問を終わります。

御清聴ありがとうございました。（拍手）

◎大森雅夫市長

それでは，森田議員の質問にお答えいたします。

WBCはキューバ戦ですが、ちょっと壮行試合の成績が悪過ぎるんで心配しておりますけども、一緒に応援しましょう。

私は、岡山歴史のまちしるべについての関係、周辺地域で観光案内看板が老朽化し、危険であったり、役目を果たしていないものがあると、更新すべきじゃないかということがあります。

その観光案内看板については、今年度から歴史案内看板、岡山歴史のまちしるべを周辺地域の陣屋町、門前町、宿場町などの地区ごとに順次設置を進めているところでございます。また、地域にはさまざまな歴史があり、これを広く現地で紹介するよう来年度から地域からの提案による看板設置も新たに始める予定としております。

私が建部に伺ったときにお話を伺ったことでありますけども、建部のそもそもの成り立ちであります。池田光政公が鳥取から岡山城主に国がえするに当たって、建部地域はいわゆる岡山藩の北部、他領と接点を有するところだったというようなことで、いわゆる警備の要衝だったということでもあります。その福渡の道筋について家老の池田長政が陣屋を構えた。やがて、その周辺に建部新町がつくられていったというようなことと理解しております。

これもすばらしい私は歴史の成り立ちなんではないかなあというようにも思っているところでございます。地域への愛着、そして地域への誇り、そういったものを高めたり、こういう歴史文化を伝承するという意味からもこのような歴史看板のまちづくりの制度を利用していただいて、例えば今の家老のそういう話も子どもたちにどんどんつなげていっていただいたらどうなのかなというようにも思うところでございます。

なお、一般の歴史とか案内看板ではこの岡山歴史のまちしるべ事業に該当しないというような場合もあると思います。そういったときにも地域の観光協会への補助制度なども現にございますので、そういった制度も活用していただきながら、環境整備に努めてまいりたいと思います。

以上でございます。

◎奥野淳子市民協働局長

周辺地域と中心地域についての項、まず町内会長等へのアンケート調査結果の公表の方法についての御質問にお答えします。

岡山市町内会長等アンケート調査結果につきましては、平成28年11月に岡山市のホームページへ掲載いたしました。また、平成28年12月8日開催の連合町内会理事会に結果を報告し、平成29年2月5日開催の岡山市町内会長等懇談会では集計結果を冊子にし、参加者約300名に配付いたしました。

続いて、アンケート結果から見えてきた町内会の現状の認識と課題、今後の取り組みについての所見をとの御質問です。

アンケート結果では、町内会運営の課題として、多くの町内会長が役員の高齢化や役員

のなり手がいないことを挙げました。こうした課題を少しでも解決するために、来年度公民館等で人づくり講座やリーダー養成講座を開催し、地域への関心を高め、地域活動の担い手となる人材育成を図ることで町内会活動の活性化につなげていきたいと考えています。以上です。

◎田中克彦岡山っ子育成局長

同じ項、番町保育園の現状についてのお尋ねです。

番町保育園は、3歳未満児のみを受け入れる乳児保育園として運営を行っていましたが、長期的に定員割れの状況が続き、平成20年度から休園となっております。その後、南方保育園整備中の平成20年7月から平成22年6月までの間は南方地域子育て支援センターとして活用していましたが、現在は未活用の状況です。番町保育園の園舎は築後約50年が経過しようとしている上、耐震性がなく、さらに駐車スペースがないなど現状のまま再度保育園として活用することは困難です。現在、有効利用の観点から、この3月22日開催予定の岡山PPP交流広場で民間からのアイデアを募集し、最良の活用方法を関係部局を含めて検討しているところです。

次に、休園イコール廃園と考えるのか、来年度は園児の再募集を開始するのか、所見をとのお尋ねです。

保育園では、毎年度継続利用の児童を含めて入園の申し込みを行っていただいておりますが、福渡第二保育園はことし4月に向けての園児募集の結果、利用希望者がありません。福渡第二保育園の現在の在園児は、それぞれ希望する保育園に4月以降入園できることとなっており、また近隣の保育園も随時受け入れ可能な状況であることから、休園もやむを得ないものと考えています。近隣の保育園の空き状況も考慮すると、平成30年4月の再募集は難しいものと考えております。

次に、跡地活用の方針についてのお尋ねです。

福渡第二保育園は、JR福渡駅や建部支所に隣接した利用価値の高い場所にあります。今後につきましては、地域の意見も聞きながら、早期に財産の有効活用ができるよう検討してまいりたいと考えています。

以上です。

◎奥野淳子市民協働局長

平成29年度予算（案）よりの項、コミュニティ活動推進備品修繕助成事業の具体的な内容をとの御質問ですが、おかやま創政会を代表されての柳迫議員及び先ほどの福吉議員に御答弁したとおり、詳細は現在詰めているところです。

以上です。

◎大杉誠都市整備局長

1の周辺地域と中心地域についての項、迅速な用地買収と道路整備への期待についてお答えいたします。

議員御指摘の県道平岡・小鎌線、県道建部・大井線等については測量設計が完了し、来年度から本格的に用地取得に取り組む予定としております。これらの路線については、整備が急がれる重要な幹線道路として認識しており、地域の方々の御理解と御協力を得ながらできる限り早期の用地取得と工事着手を目指してまいりたいと考えております。

以上です。

◎山上晃稔環境局長

2の平成29年度予算(案)よりの項、ごみ処理広域化対策事業につきまして、用地選定の方法、用地を提供したいとの要望があった場合の対応はとの御質問をいただいております。一括してお答えいたします。

現段階では、建設用地の選定方法は決まっておりますが、来年度、2市1町で選定に関する基本方針を協議した上で進めてまいりたいと考えております。

また、用地提供の要望があった場合につきましても、その中で対応を検討することになると考えております。

以上でございます。

◎菅野和良教育長

同じ項、学力向上推進プロジェクト事業について一括してお答えいたします。

まず、岡山市学力アセスは全国学力・学習状況調査と同じ日の4月18日に実施いたします。

自主学習ソフトにつきましては、教員や生徒がパソコンを活用してウェブ上から必要な問題を選択し、学習プリントを作成するものでございます。授業や宿題で一斉に使用すること、また生徒一人一人の課題に応じた学習プリントを作成することができ、自分の弱点を補う個別の補充学習にも使用できます。

このソフトは、基礎的な問題だけではなく、応用問題も選択できる予定であり、既に身についた学力をさらに伸ばすことにも活用できると考えておりまして、全ての中学校に導入する予定であります。

以上でございます。

◎森安浩一郎保健福祉局長

障害者センターについてです。

障害者センターの移転先については、利用される方々への配慮が必要と認識しており、今後とも岡山市障害者団体連合会の皆様と誠意を持って話し合いをさせていただきたいと

考えています。

以上です。

◎田中克彦岡山っ子育成局長

私も実際、現在の福渡第二保育園を以前拝見させていただいております。地域の中心部にあつて、非常にいいところに位置しているという印象は持っております。そういう意味で今、議員おっしゃいましたように、ああいったいい場所にある施設、建物を今後どういうふうにご利用していくかというのは本当に大きな課題だと私も考えておまして、そのためには当然その地域の方々のニーズとか要望とか、そういったものもしっかり真摯にお聞きしながら、我々としてどういった活用の方法があるのかしっかり考えていきたいと考えております。

以上です。

◆28番（森田卓司議員）

地域のニーズと言われましたけど、地域のニーズは保育園の復活なんです。それはもう間違いないです。

まず、旧建部町時代に、この言い方はよくないと思うんですが、町民の中からは非常に評判がよくなかったというか、有効活用ができていなかった、保健福祉局になるんかもわからんですけれど、福寿苑という施設がございまして、そこが今は岡山市と合併した後非常に評判がいいというか、これも言い方がいいのか悪いのかわかりませんが、そこへ行っている方も、それから付近の方も市民の方もいい施設になったなというふうなことを言われております。そういうふうな認識で私はいるんですけれど、それは多分岡山市のほうで努力してこういうふうにやろうというふうな考え方ではなかったかと思うので、ぜひそういう提案もしていただきたいと思いますと思うんですけど、いかがでしょうか。

◎田中克彦岡山っ子育成局長

当然、まちの体制に対してもう少し積極的にという御指摘だと思いますので、私どもとしましても例えばの話でございますけども、放課後児童クラブでありますとか、地域の子育て支援センターでありますとか、そういうふうな具体的なものを幾つか提示させていただくとともに、地域の方々のニーズであるとか、先ほど保育園の復活とおっしゃいましたけれど、それ以外に何か、ああいういい場所、いい土地にあるところの拠点性というものが図られるようなことを地域の方々とも意見交換させていただきながら考えていきたいと考えております。

以上です。

◆28 番（森田卓司議員）

ありがとうございます。具体的にそういうふうなことを提案していただいて、地域でこういうふう担当局から提案も出ておると。それを検討していこうという話になればよりいいのではないかと思います。

これは提案になるんですけど、委員会でも議論になったことがあるようにお聞きしているんですけど、市全体の待機児童の対策として、今回あらゆる手法で待機児童の解消をすると皆さん答弁されています。そういう中で、企業内保育とか、それから市役所の職員の方の子どもさんが入れなかったと市長が答弁というか、そういう話もされていましたが、そういう方をまとめて保育バスとかで、例えば市の職員の方の子どもさんだけを運ぶというのは市民の方の感情からいうとどうかと思いますけれど、そういうことでこちらのほうの保育の余裕ができることであればそういうことも考えて、例えば8時半にここに迎えにバスで来て、国道53号線を通って緑豊かな自然なところ、そういうところへ毎日通って、向こうで保育を受けてこっちへ帰ってくる。それをゼロ歳児とか1歳児、2歳児ぐらいまではちょっと無理かもわかりませんが、それ以上の子どもたちが行って、津高も通りますし、御津も通りますし、建部に最終的に着きます。そういう田舎の体験というか、いろんな体験ができるのは子どもたちのためにすごい情操教育というか、素晴らしいことではないかと、私自身夢のある施策じゃないかと思っているんです。そして、夢があって、またそういうことができれば周辺地域のモデルケースとなってあいった保育園とか幼稚園が有効活用できるのではないかと思いますのですが、これは法律的にだめなのでしょうか。

それともう一つ、一遍に聞きたいんですけど、多分一問一答にならんとするんで、これをとりあえず答弁してください。

◎田中克彦岡山っ子育成局長

以前公明党の竹之内議員さんの御質問もあったかという記憶はあるんですが、1カ所にステーション的な機能を備えて、そこから目的とする園へ送り迎えするというので、これは一応今、国のほうでも、特に関東周辺のほうで実際にやられている都市があると私も認識はしておりますので、特に違法性があるとか、ルール違反であるとかということはないと思います。

以上です。

◆28 番（森田卓司議員）

そういうことで、地元の意見を聞くというだけではなくて、積極的に早い段階で今の福渡第二保育園が保育園としてが一番ですけど、それは今言われたようにちょっと子どもの数もあって無理かもわかりませんが、先ほど言われたような形で早期の活用ができるようにしていただきたいと思います。

次に、町内会長さんに対するアンケートでございます。

余り細かくとは言いませんけれど、今私もアンケートをホームページから引っ張って見たんですけど、区ごとぐらいにアンケート結果をまとめてはいかがかと思いますが、それはされていますでしょうか。

◎奥野淳子市民協働局長

現在、区ごとに集計をまとめております。設問によってはある程度各区の特徴が見えているものもございます。また、同じ区の中でもそれぞれ地域でさらに特徴があると思われるものもあることから、先ほど答弁いたしました公民館等での実施を予定しています人づくり講座やリーダー養成講座、そうした今後の取り組みにも生かせるようにさらに分析していきたいと考えております。

以上です。

◆28番（森田卓司議員）

その中で、北区は広いですね。例えば北区で一つにまとめても、結局今の全市でやったのと同じような形になると思うんですが、どこかで線引きするようなことを考えるべきだと思うんですけど、いかがでしょうか。

◎奥野淳子市民協働局長

先ほど答弁いたしましたとおり、いろいろな講座での活用を考えておりますが、やはり地域の課題を捉えた上で講座の実施ができたかと考えておりますので、御指摘のようにある程度の区域に分けるとか、あるいは中学校区での課題が浮き彫りになるようなものになるとか、そういった分析を今後工夫していきたいと考えております。

以上です。

◆28番（森田卓司議員）

これ、何回も言っているんですけど、本当に1,800以上ある町内会で80%アンケートを返してくださるということは、町内会長さんも本当に真剣に考えられていると思います。こういう情報によって先ほどの太鼓とか、ああいう予算計上するようなことになるのかなと思うんですけど、そういう情報を全庁的に共有するべきではないかと思いますが、いかがでしょうか

◎奥野淳子市民協働局長

今もこの結果は岡山市職員共通システムの掲示板に掲載したほか、集計結果をまとめた冊子は各区役所に送付しておりますので、今後もこういったものを参考に活用してもらえればと思っております。

以上です。

◆28番（森田卓司議員）

ありがとうございます。

では、道路整備についてでございますが、中心市街地とか中心部ではやっぱり用地確保、相当金額も高いですから、難しいと私自身も思うところではありますが、中山間地域である御津とか建部とか、周辺地域になると田んぼなんかやるけん道路つくってくれと言われる人もおられるんです。何ぼでも使うてくれと言われます。そういうところで、やはり周辺地域が寂しゅうなったとか、さっきの保育園の話でもなくなるのは寂しいと言われる人が大勢おられるわけですが、やっぱり物ができるのは非常に地域の方にとって元気になるというか、活力が出てきます。ですから、道路整備とか、そういうふうに物ができていく、進んでいくということは、地域みんなに元気でやっていこう、元気を出してやっていこうという意味では非常に大切なことだと思うんです。スピード感を持った事業の展開をお願いしたいと思いますが、もう一度都市整備局長よろしくお願いします。

◎大杉誠都市整備局長

道路の整備についてはスピード感を持って対応してほしいという御要望でございますが、これについては先ほども御答弁させていただいたとおり、地域の方々の御協力と御理解を得ながらできる限り早期の工事着手、それから供用を目指して対応していきたいと考えております。

以上です。

◆28番（森田卓司議員）

地域は必ず協力してくださると思いますので、よろしくお願いします。

看板について、市長が言ってくださったんですけれど、観光看板とか案内看板、岡山市が所有している看板についてももう少し詳しく局長、説明していただければと思います。

◎山本修司経済局長

観光案内看板につきましては、合併地区を初めとしまして市内全域に数多く設置されております。これまでも看板自体の老朽化ですとか、記載情報が古くなった場合、あるいは多言語化が必要になった場合、そういう必要に応じて更新等を行ってきておりますので、こういったことはこれからも継続して取り組んでまいりますし、先ほどの市長答弁にございましたように、岡山歴史のまちしるべの活用による再整備、あるいは各地区観光協会の補助金を活用した地元主体の取り組み等、いろんな形で地元の環境整備に努めてまいります。

以上です。

◆28番（森田卓司議員）

障害者センターについてであります。

他人事のような答弁だったんですけど、今さらですが、障害者センターは岡山市が責任を持って場所を探されるのでしょうか。

◎森安浩一郎保健福祉局長

移転先については今後とも話し合いをさせていただいて、移転先を考えていきたいと思
います。

以上です。（「答弁になっていなかった」等と呼ぶ者あり）

責任を持って、誠意を持って話し合いをさせていただきたいと思
います。

以上です。

◆28番（森田卓司議員）

いつまでも先送りすることはよくないので、もう一度しっかりとした対応をお願いした
いが、もう一回だけ答弁をお願いします。

これで私の質問を終わらせていただきます。

◎森安浩一郎保健福祉局長

具体的に場所の選定とかはまだできておりません。引き続きよく話し合いをさせていた
だいて、適切な場所、適切な施設というものを考えていきたいと思
います。

以上です。